

会 議 録

会議の名称	令和元年度第1回茨木市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和元年8月7日(水)午後2時00分～午後3時40分
開催場所	茨木市役所南館3階 防災会議室
議長	善積 京子 会長
出席者	善積会長、中村(彰)副会長、城谷委員、道満委員、中村(征)委員、波田埜委員、藤里委員、矢野委員、山田委員 【9人】
欠席者	樫本委員、木村委員、畑委員 【3人】
事務局職員	上田市民文化部長、松山市民文化部長兼人権・男女共生課長、藤井ローズWAM所長、永松ローズWAM所長代理、吉田男女共生係長
開催形態	公開（傍聴人 1人）
議題（案件）	(1) 第2次茨木市男女共同参画計画(改訂版)推進状況報告書について (2) 平成30年度茨木市配偶者暴力相談支援センター事業概要について (3) 平成30年度茨木市立男女共生センターローズWAM事業概要について (4) その他
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・第2次茨木市男女共同参画計画（改訂版）推進状況報告書（案） ・平成30年度茨木市配偶者暴力相談支援センター事業概要 ・平成30年度茨木市立男女共生センターローズWAM事業概要 ・審議会等における女性委員の割合一覧表 ・事前意見一覧 ・申請書等における性別記載の見直しについて ・平成30年度第2回茨木市男女共同参画推進審議会（平成31年2月開催）での委員意見 ・いばらきひろばトーク

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	(傍聴者1名入室)
上田部長	<市民文化部長あいさつ>
善積会長	「令和元年度第1回茨木市男女共同参画推進審議会」を開催する。 <会長あいさつ>
事務局	<会議の成立について説明> 本日の出席委員は全12人中の9人で、欠席委員は3人。半数以上の出席があるので、茨木市男女共同参画推進審議会規則第6条第2項の規定により、会議は成立している。
善積会長	案件1 平成30年度第2次茨木市男女共同参画計画(改訂版)推進状況報告書について 案件2 平成30年度茨木市配偶者暴力相談支援センター事業概要について 案件3 平成30年度茨木市立男女共生センターローズWAM事業概要について 事務局の説明を求める。
事務局	【事務局説明】
事務局	事前にいただいた意見について 【事務局説明】
善積会長	質問や意見等があればお願いしたい。
藤里委員	資料2の5番の若年層からの相談と15番についてだが、若年層からのアクセスの少なさについて、SNSなどの方法論もそうだが、時期的に夏休みの終わり、春休みの終わりというのは、子どもたちが電話できるかという と難しい。また、アクセスの問題を解決しても、若年層が電話相談の取組を知らない可能性が高いというのが課題だと思うので、たとえば、広報誌の相談の欄に載せるとか、目に付くところに入れたりしたらよい。 15番のところで、配暴センターではLGBTの問題・男性相談の問題を一括して行っている。女性・男性・LGBTの方がそれぞれ相談しやすい環境を考え、安心してアクセスできるようにすることが大事。 啓発についてだが、以前相談にいったときに、気になっていたイベントのチラシを探したが配架されていなかった。行きたいと思ってもイベントがあることを知ることができない。すべて広報活動にかかっていると思う。まず知ってもらうことが第一。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>若年者からの相談について、昨年度は試験的に実施したところ、期間が短かったことに加え、学校への広報が難しかったため、相談は0件だった。今年度はデートDV電話相談を毎週土曜日に定期的に行っている。広報いばらきの相談の欄にも7月号から掲載している。今後、どのような方が相談に来るのか、様子を見たい。</p> <p>次に、LGBTの方の相談の場所についてだが、悩ましいと感じている。男女共生センターで、女性相談・男性相談、という形で性別で分けて相談の受付をしている中でLGBTの方、セクシュアルマイノリティの方がどこに相談したらいいのか、というのはとても悩ましく、相談を受け付けてもらえるのか、というところまで含めて、なかなか難しい状況だと考えている。今考えているのは、女性相談・男性相談という同じ枠組みではなく、LGBTの相談という別の枠組みがあったほうが入りやすいのではないかと、ということでセクシュアルマイノリティの方の相談窓口ということの研究しているところである。</p> <p>広報についてだが、本日「リコチャレ」という、女子学生が理系を目指すように、という子ども対象の講座を実施したが、広報誌にも掲載して周知をすると、募集期間の初日で定員が埋まってしまったので、チラシをひきあげた。現在、ポスターや紙ベースのチラシを公共施設に設置し、ホームページにも掲載するという周知をしているが、多くの方により知っていただくため、FacebookやTwitterなど様々な媒体での広報が必要になると思っている。Facebookはしているが、なかなかフォロワーの数が伸びていないので、今後研究していきたい。</p>
善積会長	他に質問や意見はあるか。
中村(征)委員 事務局	<p>ローズWAMが20周年ということで、記念行事は考えているか。</p> <p>満20年を迎えるのが来年の4月1日になるので、来年度に20周年事業の実施を検討している。</p>
善積会長	他に質問や意見はあるか。
城谷委員	<p>女性の審議会等構成委員の数と割合だが、関係団体にも呼びかけによって推薦をお願いする形で、関係団体の中には女性が少ないところもあると聞いたが、医師会の方にも健康関係等で委員を推薦してくださいという依頼が来て、理事会の中でどなたを推薦するか審議にあがることもある。そのときに、女性を特に推して推薦するようお願いがきている、というのは今まで聞いたことがない。理事会にくるときには内定が決まっていた内定を了承するという形の会議になっているので、もしかしたら理事会にくる</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>までに共有事項になっていて、推薦をこの方をお願いしたいというときにそれを考えられているのかもしれない。医師会の理事は、女性は少ないが、一般の医師会員の女性の数は段々増えているし、専門性を持った女性医師の数も増えてきているので、そのときにもっと積極的に「今は男女共同参画ということを茨木市として掲げていて、女性委員をぜひとも推薦してほしい」という形をお願いしていただければ、女性の専門医がそういうところでより上がりやすくなるのでは、と思うので、もう一声かけてほしい。</p> <p>女性委員の割合を増やさなければいけない、というのは庁内でも統一した考えではあるが、各課が審議会委員を依頼する中で、関係団体が推薦してくる方に意見を言いにくい状況など、個別の課で事情はあると思う。ただ、そういう事情があったとしても、庁内の会議等で、市としての方針として、「女性の登用」について、徹底しているところである。</p>
城谷委員	<p>「こういう委員を推薦してください」という紙が回ってくる。たとえば、「茨木市医師会様 予防接種健康被害調査委員会の委員を次回から推薦をお願いします。期間はいつからいつまでです」という紙が回ってくる。そこには、「男女共同参画の観点から女性委員の参画を希望します」との文言も入っていない。だから、その紙だけが来ているのであれば、その意図が伝わっていないのではないか。</p> <p>書式で各団体に推薦をお願いします、としていると思うので、その紙に女性を推薦する旨を書くことができないのか。</p>
事務局	<p>各団体へ推薦依頼をする際に、女性委員の登用について口頭だけでなく一文を添える方法は効果的だと考えるので、庁内各課にそういった投げかけもしていきたい。</p>
藤里委員	<p>大阪弁護士会でも明確に女性法律相談と言っている。女の弁護士以外はだめ、という表現を使っているので、開き直って書いてしまってもいいのではと思う。</p>
善積会長	<p>他にあるか。</p>
善積会長	<p>推進状況報告書について、評価と課題、改善方法を書いてもらって、見ていてすごくわかりやすく、本当に良くなったと感じている。ただ、忠実に項目を分けてしっかり検討している課と、評価のみを記述している課もある。案件によって書きづらいことはあるとは思いますが、今後ますますこういった形でしっかりと各課がやっていただくことを切に望んでいる。</p> <p>施策の項目数がすごく多いということで、たとえば32ページでは再掲の取</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>組が目につく。もう少し精査して、統合するなり、施策の根本の枠組みも含めて検討してもらえばありがたい。</p> <p>1点目の評価と課題について、各課まちまちで統一しきれていないことは否めない。今後、毎年この内容で照会をかける予定なので、内容については各課精査するよう伝えていきたい。</p> <p>事業が大変多い上に再掲が多いということだが、理由は、計画の中で幅広く男女共同参画について取り上げた結果、ベースとなる施策内容が多岐にわたっていることにあると考えている。来年度から第3次男女共同参画計画の策定に向けて検討していく予定であるが、その際に施策体系をコンパクトにわかりやすくすると、それに基づく推進状況報告書も整理されたものになるのではと思う。今後検討していく。</p>
善積会長	他にあるか。
波田埜委員	資料には全部目を通したが、資料は綿密に作られていると思う。報告書の27ページの「女性に対する暴力を許さない社会風土の醸成」というところで、上から3つ目、パープルリボンの展示について、ローズWAMでDV防止の啓発をするのはもちろんとして、各公民館等にも出張してほしいということは以前申し上げた。ぜひ他の施設でどのように展示されたか次にお聞きしたい。広がればいいと思う。デートDVの相談が土曜日にあるとか、女性の審議会委員が増えた等の情報をあわせて掲示したりと、各地域の公民館等に協力いただきたい。
事務局	検討する。
善積会長	<p>その他案件について、事務局から2点報告がある。</p> <p>1点目 申請書等における性別記載の見直しについて</p> <p>2点目 男女共生センターローズWAMのぱーとなーの運営について</p> <p>事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>1点目 申請書等における性別記載の見直しについて</p> <p>【事務局説明】</p>
中村副会長	現状、担当課としたらどうしても性別記載の方法を変更したくないという気持ちがかかなりあるのかもしれない。本当に性別記載が必要なのかを再度確認するほうがよい。
事務局	副会長がおっしゃるように、工夫できるところがあるかもしれない。個別

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	に各課へヒアリングをして、なるべく廃止または工夫できるところを増やしていきたい。
藤里委員	申請書等とは、具体的にどういったものがあるのか。できるものとできないものと。
事務局	たとえば、施設使用関係の申請書で性別記載欄が様式として定まっているものがある。本当に必要なのか担当課で考えてもらって、必要がなければ削除、工夫するように調整している。 また、印鑑登録証明書には印影や氏名とあわせて性別も記載されるが、市の自治事務なので、条例を改正すると性別を削除できるようになる。セクシュアルマイノリティへの配慮の観点で施策を進めるため、性別を削除する方向で検討している。
善積会長	2点目 男女共生センターローズWAMのぱーとなーの運営について 事務局に説明を求める。
事務局	喫茶ぱーとなーはローズWAM開所当初から、ローズWAM事業運営協議会が運営してきた。この運営について、事業運営協議会の会長の波田埜委員から現在の運営についてご報告いただき、今後こういった形で喫茶スペースを活用するののかについては事務局から説明する。
波田埜委員	喫茶ぱーとなーについて、諸般の事情により、9月末で喫茶事業を閉じることになった。これについて協議会の委員の皆さまからご意見を集めたが、現在の形での継続をしたいという方はいらっしゃらなかった。これから先については、協議会の委員の皆さまからご意見やアイデアを集めて共有し、市に詳細の検討をお願いしている。非常に目立つ場所なので、従来どおりの喫茶ではなく、いろいろな活用方法があるのではないかと考えている。今の取組状況については、事務局に願います。
事務局	波田埜委員から報告があったように、喫茶ぱーとなーは今年9月一杯で営業を終了するということが事業運営協議会で決定された。10月以降どのようにしてスペースを活用していくかについて、事業運営協議会で一定ご検討いただき、同じような喫茶の経営は一旦リセットし、10月以降の活用は市で検討するという事になっている。10月以降の活用をどうするかは現在検討している最中ではあるが、「次なる茨木・クラウドプロジェクトいばらきひろばトーク」というチラシをお手元に置かせていただいている。今本市は市民会館の建て替えのこともあり、市街地の中心をどのような形で市民の皆さんに関わっていただいで活性化していくのか、物と人をどうい

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>う形でつないでいくのかについて、市全体で検討しているところである。今年度、広場の活用におけるまちづくりの検討が行われており、まちなかの空間を使った賑わい・つながりのつくり方ということで、市街地にあるスポットを市民の方に選んでいただき、どういった形でモノとヒトがつながって文化が創られていくのか社会実験をしようという企画になっている。興味のある市民の方の勉強会と、実際に街の中に出て社会実験を通して市街地の活性化、市民の皆さんの活動を広める実験をするワークショップが二本立てとなって流れていく。この取組の中にローズWAMも入ってみようと考えている。今年度社会実験として、現在ぱーとなーのあるスペースを市民の皆さんに知っていただき、活用の方法を考えていただきたい。来年度以降については、社会実験の中で皆さんがやっていただいたことを参考に、どういったものが望ましいか、男女共同参画を推進するための施設の趣旨・意義を活用とどうつなげていくのかなどを課題として検討していきたい。</p>
善積会長	<p>これに対して質問や意見はあるか。</p>
中村(征)委員	<p>65 歳を過ぎて家に引きこもっている人に外で仲間を作ってほしいと思って、私はローズWAMで男性限定の料理教室を始めた。料理教室は去年で終わったが、OB会「茨木おやじの会」を作った。みんな地方から来ているので、「きみも知らないわたしのふるさとに行こう」という、旅行をした。とても盛り上がり、みんなが集まって料理して、という場所がほしい。みんな何かしたい、友達がほしい、だがお金はない。来期WAMで何かできないか、と所長に相談した。夕方の晩御飯を一緒に作って食べよう、わいわいやって段々広まって引きこもりじゃなくなって、ということをやりたい。ぱーとなーはもったいないなと思っていた。20年というのはひとつの転換期だと思う。一旦ゼロにするのもいいと思う。何かできることがあればぜひ協力させていただきたい。</p> <p>一週間、二週間誰かに貸し出す、というのもいいのかと思う。みんなおしゃべりがしたい。人は人を呼ぶ。会社を辞めて65歳や70歳でも何かをしたい人、力を持っている人はいっぱいいる。もったいないと思う。</p>
波田埜委員	<p>コモン・カフェやシェア・キッチンという日替わりカフェの発想や期間限定でやりたいというような希望も聞いている。いろいろな知恵が集まってほしいと願う。</p>
城谷委員	<p>ローズWAMの主な目的は、今まで、弱い女性を守る、男性と同じような立場で社会に参画できない女性を押し上げて女性も経済界や政治など、いろいろな社会に一定以上参加していくことを推進していくような取組をす</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>るところだと思っていたが、今お話を伺って、男性側へのサポートも大事だと思った。たとえば若い世代、今までは働くだけが男性の役割だったが、この頃はクリニックにお父さんがお子さんを当たり前のように連れて予防接種に来たり、風邪を引いたお子さんをお父さんひとりで連れてくることがある。時代が変わり、感覚が変わってきている。男性が家庭生活、社会の地域の取組に参加していくというの、男女共同参画のひとつの大きな取組だと思う。地域に対しての社会参加、地域に対してのつながりは女性の場合比較的若い頃から子どもを通じて、仕事を通じて地域があるが、男性の場合は遠くに働きに行っていたりすると地域でのつながりがなく、定年後折角の人材を眠らせることになると思う。もちろん今までの「女性を守る」「女性の地位を向上する」取組はそのまま推し進めていただきたいが、男性の社会参加をぜひいろんな形でサポートできればいいのかなと思う。</p>
中村(征)委員	料理教室だけじゃなくて、フランス語、ギター、写真など、一人では何か物足りなくなって何となくやっている男性もいる。
中村副会長	20年ということ考えると、それまでは「女性センター」という名前がほとんどだったが、男女共同参画と名乗ったり、ローズWAMの場合は男女共生センターとしている。これまで手薄だったところにも入り込めるような環境を整えていくようなこの20年の取組みだった。それをより発展させる形、女性にとって、男性にとって、あるいはLGBTの方々にとっても拠り所となる施設、その中での喫茶コーナー部分の活用ということで、ぜひいろんな意見がでたらいいなと思う。
善積会長	その他報告があるか。
事務局	本日の審議会の会議録は作成次第、委員の皆さまに送付しますので、確認をお願いしたい。
善積会長	<p>それでは、これをもって令和元年度第1回 茨木市男女共同参画推進審議会を閉会とする。</p> <p><閉会></p>